

大阪市立南恩加島小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 本校児童は、「人懐っこい」というよさがあり、進んであいさつができたり、友だちと楽しく活動できたりする児童は多い。地域の学校に対する支援は、たいへん大きなものがあり、「子どもを地域ぐるみで育む」という温かい雰囲気がある。全体としては大きな荒れはないものの、個々には、落ち着かない児童もみられる。また、家庭状況をみると、支援を要する家庭が少なからずあり、受容的でねばり強い関わりが必要となっている。
- 学校で認知したいじめは、全てにおいて解消できるように取り組んでおり、不登校の児童に対しても、チームで継続した働きかけをしている。学校のきまりを守れるようにする指導も日常的に行ってきた。昨年度の学校アンケートでは、「学校のきまりを守っていますか」について、肯定的な回答をする児童の割合は87%、「朝食を毎日食べている」では90%と、前年度よりやや下回った。他にも、遅刻や忘れ物等の課題が残っている。早寝・早起き・朝ごはんを促す「すいみん調べ」や、学校のきまりを意識させる取り組みを今後も継続していく。
- 学力向上は最も大きな課題であり、この間「基礎・基本の定着を図る」ための取り組みを継続してきた。昨年度の学力経年調査では、同一母集団の比較(標準化得点)では、3学年のうち2学年で前年度より向上させることができた。しかし、依然として市平均との差が大きい。特に、正答率が7割に満たない児童の割合が依然として大きく、低学力層の底上げが急務となっている。「わかる・楽しい授業」や「個に応じた指導」「言語活動の充実」等について、今後も指導法の更なる工夫や、教員の授業力向上が求められる。
- 体力面では、男子においては、シャトルランを除く8種目中7種目において大阪市平均を上回り、女子においても、「反復横跳び」「20mシャトルラン」以外は、大阪市平均を上回った。しかし、新型コロナウイルスの影響もあり、運動遊びをよくする児童とそうでない児童との二極化傾向が見られる。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
- 毎年度末の校内調査において、不登校児童の割合を毎年、前年度より減少させる。
- 毎年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を毎年、増加させる。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- 毎年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。
- 令和7年度の学校アンケートの「避難訓練の時には、避難訓練のルールを守れている」の項目について、肯定的に答える児童の割合を90%以上にする。

- 令和7年度の小学校学力経年調査の「自分にはよいところがあるとおもいますか」の項目に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を30%以上に増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目において、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を35%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を55%以上にする。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を55%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査の平均正答率7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も令和3年度より3ポイント減少させる。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、全て大阪市平均を上回らせる。
- 規則正しい生活を身に付けている児童の割合（全国学力・学習状況調査・校内調査の「朝食を食べていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して肯定的な回答をする割合）を令和7年度調査において85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について「ほぼ毎日」と回答する児童の割合を90%にする。
- 学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業以外の休業日については1日以上設定する。
- 令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を76.5%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- ・全国学力・学習状況調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を70%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

- 学校アンケートの「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 学校アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。
- 学校アンケートの「避難訓練の時には、避難訓練のルールを守れている」の項目について、肯定的に答える児童の割合を85%以上にする
- 令和4年度の小学校学力経年調査、学校アンケートの「自分にはよいところがあるとおもいますか」の項目に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を30%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を30%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を50%以上にする。

学校園の年度目標

- 令和4年度の小学校学力経年調査の平均正答率7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も令和3年度よりより1ポイント減少させる。
- 令和4年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、全て大阪市平均を上回らせる。

○規則正しい生活を身に付けている児童の割合（全国学力・学習状況調査・学校アンケートの「朝食を食べていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して肯定的な回答をする割合）を令和4年度調査において上述すべて項目で85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

- ・令和4年度末の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について「ほぼ毎日」と回答する児童の割合を80%にする。
- ・学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業以外の休業日については1日以上設定する。

学校園の年度目標

- ・令和4年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を前年度より増加させる。

3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

昨年度の実態・反省を踏まえ取り組みを進めてきた結果、以下の成果をあげることができた。また、全市共通目標は以下の通りの達成状況であった。「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の最も肯定的評価は、全国学力・学習調査で93%、学校アンケートで84%であり昨年と比べても飛躍的に向上し目標を上回った。

不登校の課題は年々多様化し、複雑化し年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より増加した。来年度は、より一層毎月実施の生活指導連絡会で情報共有するとともに、継続して学校組織全体で総力を挙げて課題解決を目指し取り組んでいく。

学校の年度目標では、「学校に行くのは楽しい」の肯定的評価は86%、「学校のきまり・規則を守っている」の肯定的評価は90%、「避難訓練の時には、避難訓練のルールを守れている」の肯定的評価は95%、「自分にはよいところがあるとおもう」の最も肯定的評価は、42%といずれも目標を上回った。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標では、小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」については全学年で目標値を下回った。

小学校学力経年調査における「国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。」については、国語科については、全学年前年度より向上させ全学年目標を達成できた。しかし、算数科については、全学年前年度より下がり目標を達成することはできなかった。

小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好き」の肯定的評価は79%であり、目標を上回った。

小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好き」の最も肯定的評価は全学年目標を上回った。

学校の年度目標では、小学校学力経年調査における「平均正答率7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も令和3年度よりより1ポイント減少させる。」については、前年度と比較すると対象3学年のうち2学年で前年度より向上させることができた。

全国体力・運動能力、運動習慣調査において、「全て大阪市平均を上回らせる。」については、男子は8種目中2種目、女子については8種目中7種目大阪市平均を上回った。「朝食を食べている」の肯定的評価は90%、「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」の肯定的評価は75%であり、朝食については目標を上回ったが、早寝早起きについては目標を下回った。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標では、「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」に「ほぼ毎日」と回答する割合が87%で目標を上回った。

学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業以外の休業日については1日以上設定することができた。

学校の年度目標では、小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好き」の肯定的評価は前年度より減少してしまい目標は達成できなかった。

3つの最重要目標のまとめとして、本年度は、個に応じた習熟度別による学習や基礎・基本の定着を目指した朝学習に取り組んできた。今後も個に応じた指導をより充実させ、基礎・基本の定着を図ることで学力下位層を向上させていく。そのために、朝学習の充実や家庭学習習慣の定着を図っていく。また、校内研修の充実と校外研修へのより積極的な参加を通して、各教員の指導力向上を目指す。また、本を読むのが好きだと肯定的評価をした児童が昨年度より8%も減少した、来年度は読書に触れ合う機会を増やしたり、委員会活動などで積極的に図書室を使用する取り組みを進めていく。

児童の生活面については、早寝が定着していない児童・保護者への個別の声掛けを続け家庭と連携し健康的な生活習慣の定着率を向上させたい。

(様式2)

大阪市立南恩加島小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 全市共通目標(小・学校) ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を70%以上にする。 ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 学校の年度目標 ○学校アンケートの「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。 ○年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。 ○学校アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。 ○学校アンケートの「避難訓練の時には、避難訓練のルールを守れている」の項目について、肯定的に答える児童の割合を85%以上にする ○令和4年度の小学校学力経年調査、学校アンケートの「自分にはよいところがあるとおもいますか」の項目に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を30%以上にする。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】 年間を通した人権教育の取り組み、生活指導部会での情報共有や事案への早期対応を通して、いじめについて100%解消に向けて組織的に取り組む。 指標 ・全国学力・学習状況調査、学校アンケートの「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を70%以上にする。 全国学力・学習状況調査⇒R3結果:70% R4結果:93% 学校アンケート ⇒R3結果:なし R4中間:82% R4最終:84%	B
取組内容②【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】 スクールライフノートの「心の天気」や「相談機能」を活用し、保護者と学校、地域が密に連携することで、児童理解に基づいた一人ひとりの心情にあった支援を推進する。	

指標 ・年度末の校内調査において、不登校児童の割合を前年度より減少させる。 ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 <u>R3 結果:4名(1.6%) R4 中間 5名(2.1%) R4 最終 8名(3.2%)</u> <u>※各 4 月 1 日から1月 31 日までに 30 日以上欠席者による算出。</u> ・全国学力・学習状況調査、学校アンケートの「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。 <u>全国学力・学習状況調査⇒R3 結果:73% R4 結果:71%</u> <u>学校アンケート ⇒R3 結果:91% R4 中間:83% R4 最終:86%</u> ・年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。 <u>R3 結果:0件 R4 中間:0件 R4 最終:0件</u>	C
取組内容③【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】 「学校のきまり」の内容や指導について、教職員間で意思統一を図ったり、行事運営委員会による「廊下、階段歩こう週間」や「身だしなみ週間」を行ったりすることで、児童が守ろうとする意識を高める。 指標 ・小学校学力経年調査、学校アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。 <u>小学校学力経年調査⇒R3 結果:3年87% 4年96% 5年97% 6年89%</u> <u>R4 結果:3年88% 4年82% 5年94% 6年90%</u> <u>学校アンケート ⇒R3 結果:85% R4 中間:88% R4 最終:90%</u>	B
取組内容④【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】 学期に一度の避難訓練や防災・減災教育を通じて災害について日常的に自分で考え行動できる児童を育成する。 指標 ・学校アンケートの「避難訓練の時に、避難訓練のルールを守れている」の項目について、肯定的に答える児童の割合を85%以上にする。 <u>学校アンケート⇒R3 結果:なし R4 中間:91% R4 最終:95%</u>	A
取組内容⑤【基本的な方向2、豊かな心の育成】 キャリアパスポートの取り組みを活用し、自分自身の成長を実感したり、道徳科の授業を通じて自他について考えたりすることを通じて、自分や友だちを大切にする心情を育てる。 指標 ・全国学力・学習状況調査・学校アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、最も肯定的に回答する児童の割合を30%以上にする。 <u>全国学力・学習状況調査⇒R3 結果:20% R4 結果:37%</u> <u>学校アンケート ⇒R3 結果:なし R4 中間:51% R4 最終:42%</u>	B
取組内容⑥【基本的な方向2、豊かな心の育成】 行事運営委員会による「あいさつ週間」や朝の看護当番によるあいさつの促進等で、あいさつの大切さを実感できるようにし、地域の人や友だちへ進んであいさつできるよう	C

にする。	
指標 ・学校アンケートにおける「進んであいさつしている」に対して肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする 学校アンケート⇒R3 結果:89% R4 中間:88% R4 最終:86%	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
① 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合が全国学力・学習調査、学校アンケートとも目標の 70%を大きく上回っており昨年と比べても飛躍的に向上した。 ② 年度末の行内調査において「不登校児童の割合を減少させる」「改善の割合を増加させる」とも前年度を下回っており家庭の協力の重要性が伺われる。 ③ 「学校へ行くのが楽しいと思いますか」では総じて肯定的な回答が得られている。 ④ 「学校のきまる・規則を守っていますか」にびて、学力経年調査、学校アンケートともに目標値を上回っている。 ⑤ 「避難訓練の時に避難訓練のルールを守れている」について、最も肯定的な回答が目標値を上回り肯定的な回答が大きく向上している。 ⑥ 「自分にはよいところがあると思いますか」では目標値を大きく上回った。 ⑦ 「進んであいさつしている」では目標値を下回り意識が高くないことが実感としても感じられる。	
次年度への改善点	
① 現在の状況を維持するとともに、学校アンケートにおいてもさらに向上するよう指導していく。 ② 不登校児童において、対策によって未然に防止できたり改善したりした児童はいるので、家庭への啓発も含め新たに不登校にさせない対策にも継続して力を入れていく。 ③ 肯定的な回答が維持されるよう指導を継続していく。 ④ 経年調査では、3年生以外は目標値を上回り学校アンケートにおいても上回っている。3年生においても肯定的な回答が目標値を超えるよう指導に力を入れていく。 ⑤ 引き続きこの状況を維持できるよう指導を続けていく。 ⑥ 今後も自己肯定感を高める指導をしていく。 ⑦ あいさつに対する意識が高くないので日常的な指導や活動をして習慣化できるようにしていく。	

(様式2)

大阪市立南恩加島小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 全市共通目標(小学校) ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を30%以上にする。 ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。 ・小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を50%以上にする。 学校の年度目標 ○令和4年度の小学校学力経年調査の平均正答率7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も令和3年度より1ポイント減少させる。 ○令和4年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、全て大阪市平均を上回らせる。 ○規則正しい生活を身に付けている児童の割合(全国学力・学習状況調査・学校アンケートの「朝食を食べていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して肯定的な回答をする割合)を令和4年度調査において上述すべて項目で85%以上にする。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4、誰ひとり取り残さない学力の向上】 対話的学習活動を活発にし、伝え合い、学びあう力を育てる。 指標 ・小学校学力経年調査、学校アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を、60%以上にする。 小学校学力経年調査⇒R3 結果:3年67% 4年86% 5年76% 6年63% R4 結果:3年69% 4年64% 5年71% 6年63% 学校アンケート ⇒R3 結果:なし R4中間:78% R4最終:83%	A

取組内容②【基本的な方向 4、誰ひとり取り残さない学力の向上】 子どもが生き生きと興味をもって取り組めるよう、教材・教具・ICT の工夫、体験活動の充実など、指導法の工夫・改善を図り児童の学力の向上を図る。 指標 ・ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント増加させる。 小学校学力経年調査⇒R3 結果(国語):3年79% 4年86% 5年92% 6年76% R3 結果(算数):3年91% 4年98% 5年108% 6年75% R4 結果(国語):3年89% 4年85% 5年99% 6年96% R4 結果(算数):3年97% 4年82% 5年87% 6年95% ・ 国語科・算数科の単元テストの正答率を 75 %以上にする。	B
取組内容③【基本的な方向 4、誰ひとり取り残さない学力の向上】 楽しく外国語（英語）に親しむ児童を育てるため、指導法を工夫し教育の充実と推進を図る。 指標 ・ 学校アンケートにおいて「外国語（英語）の授業が楽しい」と肯定的に回答する児童の割合を 80 %以上にする 学校アンケート⇒R3 結果:73% R4 中間:85% R4 最終:79%	B
取組内容④【基本的な方向番号 5、健やかな体の育成】 体育科の指導を工夫するとともに、休み時間に運動場に出て遊び、学校生活全体を通して体力の向上を図る。 指標 ・ 学校アンケートにおいて「運動（そとあそび）をよくしている」と肯定的に回答する児童の割合を 80 %以上にする。 学校アンケート⇒R3 結果:74% R4 中間:62% R4 最終:67% ・ 令和 4 年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70 %以上にする。 小学校学力経年調査⇒R3 結果:質問項目なし 小学校学力経年調査⇒R4 結果:3年88% 4年94% 5年82% 6年81%	B
取組内容⑤【基本的な方向 4、誰ひとり取り残さない学力の向上】 個に応じたきめ細かな指導を行ったり、繰り返し学習したりすることで、基礎・基本的な学習内容を定着させる。 指標 ・ 令和 4 年度の小学校学力経年調査の平均正答率 7 割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も令和 3 年度よりより 1 ポイント減少させる。 R3 結果：3 年 34.2% 4 年 18.0% 5 年 8.7% 6 年 36.7% R4 結果：3 年 23.8% 4 年 25.6% 5 年 10.5% 6 年 11.4%	B
取組内容⑥【基本的な方向 5、健やかな体の育成】 体育科の指導を工夫することで、児童の基礎体力の向上を図る。 指標 ・ 令和 4 年度の全国体力・運動能力、週間調査において、全ての項目で大阪市平均を上回らせる。	

⇒<u>男子大阪市平均:(握力)16.1kg (上体起こし)18.4 回 (長座体前屈)33.1cm</u> <u>(反復横跳び)38.2 回 (シャトルラン)42.9 回 (50m 走)9.5 秒 (立ち幅跳び)148.2cm</u> <u>(ボール投げ)20m</u> <u>女子大阪市平均:(握力)16.1kg (上体起こし)17.5 回 (長座体前屈)38.0cm</u> <u>(反復横跳び)36.5 回 (シャトルラン)34.1 回 (50m 走)9.7 秒 (立ち幅跳び)140.7cm</u> <u>(ボール投げ)12.7m</u> <u>R4 男子結果:(握力)17.0kg (上体起こし)17.6 回 (長座体前屈)29.1cm</u> <u>(反復横跳び)37.4 回 (シャトルラン)40.9 回 (50m 走)9.8 秒 (立ち幅跳び)144.0cm</u> <u>(ボール投げ)20.2m</u> <u>R4 女子結果:(握力)18.0kg (上体起こし)19.6 回 (長座体前屈)38.7cm</u> <u>(反復横跳び)38.3 回 (シャトルラン)39.2 回 (50m 走)9.4 秒 (立ち幅跳び)138.7cm</u> <u>(ボール投げ)16.5m</u>	B
取組内容⑦【基本的な方向番号 5、健やかな体の育成】 「体育科保健領域」「特別活動における保健に関する指導」等を通して、健康的な生活習慣の定着を図る。 指標 ・基本的生活習慣の定着化をめざして睡眠時間を確保するよう啓発・指導し、校内調査「早寝・早起きをしている」の項目で肯定的な回答する児童の割合を 85%以上にする。 学校アンケート⇒R3 結果:84% R4 中間:73% R4 最終:75% ・小学校学力経年調査、学校アンケートにおける「朝食を毎日食べている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。 小学校学力経年調査⇒R3 結果:3年90% 4年94% 5年98% 6年90% R4 結果:3年92% 4年87% 5年92% 6年95% 学校アンケート ⇒R3 結果:90% R4 中間:90% R4 最終:90%	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
・「外国語の授業が楽しい」と肯定的に回答する児童の割合は 79%となり、おおむね目標を達成することができた。 ・「運動をよくしている」と肯定的に回答する児童の割合は 67%となり目標を下回った。 ・話し合い活動に関する項目では、目標を大きく上回ることができた。 ・「早寝・早起き」をしている児童は 75%と目標を下回ったが、「朝食を毎日食べている」児童は、目標を大きく上回った。	
次年度への改善点	
・運動をよくしていくために、集会活動で運動をする機会を増やすとともに、休み時間の PC の使い方について検討していく。 ・「早寝・早起き」の項目で目標が達成できなかったため次年度も「すいみん調べ」等の取り組みを継続し、家庭への啓発に努める。	

(様式 2)

大阪市立南恩加島小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】 全市共通目標 (小学校) - 令和 4 年度末の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について「ほぼ毎日」と回答する児童の割合を 80%にする。 - 学校閉庁日については、夏季休業期間中は 3 日以上、夏季休業以外の休業日については 1 日以上設定する。 学校の年度目標 - 令和 4 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を前年度より増加させる。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 6、教育 DX の推進】 ICT 機器の活用を中心に児童に ICT 技能を身に付けさせるとともに、活用できる児童の育成を図る。 指標 令和 4 年度末の校内調査の「日々の学校生活の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と回答する児童の割合を 80%にする。 学校アンケート⇒R3 結果:なし R4 中間:73% R4 最終:87%	B
取組内容②【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教職員の働き方改革に関して勤務時間の最適化を図る。 指標 学校閉庁日については、夏季休業期間中は 3 日以上、夏季休業以外の休業日については 1 日以上設定する。 ⇒ R4 中間:100%設定できている R4 最終:100%設定できている	A
取組内容③【基本的な方向 8、生涯学習の支援】 本に親しむ機会や場（読書タイム、図書室利用、調べ学習等）を設定することで、本に親しみ、楽しんで読書をする児童を育てる。 指標 学校アンケートにおける「本を読むのが好き」に対して肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。 学校アンケート⇒R3 結果:73% R4 中間:70% R4 最終:65%	C

- ・令和４年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」の項目について、「全くしない」と回答する児童の割合を令和３年度より５ポイント減少させる。

小学校学力経年調査⇒R3 結果:3年25% 4年28% 5年42% 6年56%

R4 結果:3年21% 4年30% 5年35% 6年50%

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ① 校内調査の「日々の学校生活の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と回答する児童の割合が８７％であり、目標である８７％を上回ることができた。多くの児童が学習者用端末に慣れ、活用することができている。しかし、「デジタルドリル」やインターネットなど使用しているアプリは限られていることが課題である。
- ② 学校閉庁日を、夏季休業期間中は３日以上、夏季休業以外の休業日については１日以上設定することができ、目標を十分に達成できた。
- ③ 学校アンケートにおける「本を読むのが好き」に対して肯定的に回答する児童の割合が６５％と目標を下回った。ただし、アンケートに反映されていないが、２月には図書委員会が実施している「図書月間」を実施した。また、市立図書館における学校貸出も積極的に取り組むことができた。

次年度への改善点

- ① 引き続き、児童がより多くの時間、学習者用端末を使用することができるような機会を設けていきたい。「スマートスクール」を中心に毎日活用しなければならないアプリを習慣づけるとともに、プログラミング等のより幅広いアプリを活用する機会を設けるようにしていきたい。
- ② 今年度と同様に、引き続き取り組んでいきたい。
- ③ 今年度実施した「図書月間」や、学校貸出の利用を次年度でも続けていきたい。また、学級担任や図書司書による読み聞かせの機会もより多く設けるようにしたい。